（一社）福島県建築士事務所協会県北支部青年部活動 NEWS　～ 平成 29 年度号 ～

四季報

発　行／一般社団法人 福島県建築士事務所協会 県北支部 青年部　広報渉外委員会
所在地／〒960-8061 福島市五月町 4-25　福島県建設センター5 階　TEL(024)521-4033

平成 29 年度　県北支部青年部　活動報告

5 月　第 16 回　県北支部青年部　通常総会
5 月 26 日(金)　ウィズもとまち　4F　大会議室

蛭川部会長の卒業に伴い、3 月 31 日(金)に行われた臨時総会にて、小島建築設計事務所内山氏に部会長のバトンが渡されました。
スローガンは「研鑽と交流」。交流を通した研鑽が今後起こりうる変化に対応する為には必要であり、また交流の輪を絶やさない為にも、次世代の若者への環境づくりを、考えていきたいと挨拶がありました。

8 月　県青年部例会参加　　研修会
8 月 19～20 日(土日)　東京方面

参加団体／福島県木材青壮年協会／東京都建築士事務所協会青年部
19 日／木材協会(東京木材問屋協同組合)、木材・合板博物館見学
東京大学名誉教授　農学博士／木材・合板博物館　館長　安藤直人氏による講演会(演題:これからの木材利用について)
20 日／特別養護老人ホーム洛和ヴィラ文京春日　見学

5 月　第 5 回　県青年部　定時総会
5 月 19 日(金)　福島エルティー

県青年部員一堂に会しての平成 29 年度定時総会が開催され、 事業案も無事承認されました。今年度スローガンは「ネットワークづくりを目指して」とし、 昨年の「青年話創会」での各県青年部会との繋がりをより強固なものにしていきたいとの事でした。
講演会では、福島県土木部(建築担当)次長　村井氏より「福島県の復興・創生の現状について」というテーマで講演を賜りました。

9 月　例会　技術研修会
9 月 8 日(金)　ウィズもとまち　3F

●福島ネオ工業株式会社様より「浄化槽人槽算定の軽減方法について」として、複合施設での按分方法について。
また、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金についてご教示して頂きました。

●アシスト株式会社様は、環境配慮型地盤改良工法の、「エコジオ工法」の紹介をしていただきました。
環境にやさしい砕石の地盤改良工法で、土地の地価を守ることができるなどの特徴を紹介いただきました。

●関西ペイント部式会社様からは、漆喰塗装「アレス漆喰」、虫よけ塗料「アレスムシヨケクリーン」の紹介をしていただきました。
開発時のエピソードを織り交ぜた商品の紹介は、とても興味深い内容でした。

平成 29 年度　県北支部青年部　活動報告

10 月　青年話創会　和歌山大会　参加

10 月 5～7 日（県青年部役員）

今年度も建築士事務所協会全国大会にて「青年話創会」が開催されました。県青年部役員が会の代表として参加しています。

12 月　例会　ユナイテッド FC 応援

12 月 3 日(日)　とうほう・みんなのスタジアム
明治安田生命J3リーグ　第 34 節　Vs グルージャ盛岡

恒例になりつつあるユナイテッド FC 応援例会。鈴木勇人監事のご厚意で裏方見学からの観戦となりました。12 月という事もあり、寒空の中の観戦となりましたが、3 対 1 で見事勝利。ゴールシーンもたくさん見る事ができ、寒さを忘れる熱い試合となりました。前回観戦の時も勝利しているので、勝利を引き寄せる誰かが、青年部員の中にいるのかもしれません。

1 月　県北支部青年部　新年会

1 月 26 日(金)　場所:岩滝酒蔵

卒業した先輩方に出席して頂き、直近の事業報告と、現在の青年部の報告を行いました。先輩方、美味しいお土産ありがとうございました。

番外　青年部有志ゴルフコンペ

＜健康促進事業＞

青年部始まって以来初のゴルフコンペを、日頃の運動不足を補うべく 2 回ほど開催しました。優勝は、、、、、と発表したいところではありますが、有志での開催なので名前は伏せておきます。

3 月　県北支部青年部　研修旅行

3 月 31 日(土)　場所:栃木方面　（日帰り）

研修場所 ： 茂木町まちなか文化交流館 （栃木県 茂木町）　設計　内田文雄＋龍環境計画

300 年続いた酒造蔵元の跡地に建てられた「図書情報館」,「歴史資料展示室」,「展示・町民ギャラリー」「体験研修室」,「ブックカフェ・まちかどサロン」等が複合する町民のための施設。その場所にあった「仕込み蔵」や「土蔵」を残しながら、町が育てた町有林を利用した空間がつくられています。
「街なかにおける人と自然と文化の共生による町のサロン・文化歴史の伝承・観光拠点づくり」がコンセプト。

研修場所 ： 馬頭広重美術館 （栃木県那須郡那珂川町）　設計　隈研吾建築都市設計事務所

平成7年1月の阪神淡路大震災に被災された青木藤作氏のご遺族から、歌川広重の肉筆画を中心とするコレクション寄贈の申し出が馬頭町（現那珂川町）にあり建築された美術館。「広重の芸術と伝統を表現する伝統的で落ち着きのある外観」をコンセプトとし、自然豊かな那珂川町の景観に溶け込むよう、ゆったりとした平屋建てに切妻の大屋根を採用しています。 美術館全体は、地元産の八溝杉による格子（ルーバー）に包まれ、時間とともに移りゆく光によってさまざまな表情を見せます。内装にも地元の材を使い、壁は烏山和紙、床は芦野石でできています。
館内にはカフェがあり、将軍珈琲なるものを飲むことができます（十五代将軍、徳川慶喜公が飲んだとされる珈琲をそのひ孫にあたる徳川慶朝氏が史実に基づき再現したものだそうです）

日帰りという事で、移動時間に制限があり、多くの建物を見学する事は出来ませんでしたが、それぞれじっくりと見学する事ができました。年度末の忙しさで疲れている部員もいたので、いっときの安らぎといったところで、丁度良い行程でした。

編集後記 ： 今年度は、若者の建設業離れが叫ばれている昨今、地元工業高校等への業界PRを検討してきました。今年度はタイミングが合わず、断念した形となってしまいましたが、学生等の若者に建設業の魅力を伝えるのも、我々青年部に課せられている使命ではないかと感じます。次年度こそは、実現させて四季報に掲載する予定でいますのでご期待ください。